

京都府プロフェッショナル人材戦略拠点のサポートのもと、プロフェッショナル人材を採用された事業者にお話を伺います。

## 企業と人材、双方の要望を最重視するスタンスに安心感 品質管理体制強化を担える経験豊富な人材を獲得

三幸総研株式会社  
<http://www.sanko2000.com>



### “切断”と“打ち抜き”を通して得た知見を活かし あらゆる現場の課題を解決する素材開発も推進



代表取締役社長 古澤 志津夫氏

当社は1966(昭和41)年、印刷会社の協力工場として創業しました。当初の事業の軸は、食品のプラスチックフィルムパッケージの切断・打ち抜きです。パッケージデザインが印刷された2000mのロールをカットし、何百枚も重ね、上から一気に打ち抜くという加工を請け負っていました。

1990(平成2)年以降は電子・光学分野に参入し、薄型テレビなどに搭載される液晶ディスプレイの材料となるフィルムを手掛けるようになりました。いち早く品質保証体制を整えたことで、液晶ディスプレイの需要拡大に伴い大きく成長を遂げました。

現在は、半導体チップを保護する封止材、スマートフォンの保護フィルムなど、多様なプラスチックフィルムの加工を行うとともに、素材メーカーの協力を得て、高機能フィルムの開発にも積極的に取り組んでいます。これまでに、通話中にメイクが付着しにくいスマートフォン用保護フィルムや、高透明・低反射の特性を活かし細かい作業にも対応できるフェイスシールドなどを開発しました。フェイスシールドは歯科医院で採用されており、販路開拓を進めているところです。



材料開発から手掛けた付加価値の高いプラスチックフィルムも展開

### 品質管理の体制強化と人材育成に向けて 経験豊富な人材を迎え入れることを決意

近年、当社の課題の一つとしてあったのが、品質管理体制のさらなる強化です。当初は若手社員を採用しようと考えていま

したが、体制が十分に整っていない状況ではスムーズに進まないため、未来を見据えた組織の若返りを図る第一歩として、60歳以上のエキスパートの方を採用することを決めました。

京都産業21からはこれまでに、当社が力を発揮できそうな案件の紹介など、さまざまな支援をいただいておりますが、民間企業出身のコーディネータが多いことが特徴の一つ。企業のことを理解し、親身になって、熱意を持ってサポートに動いてくださっていると感じます。プロフェッショナル人材戦略拠点事業においても、企業と人材の両者にとって良いマッチングを実現させるというスタンスで対応してくださり、要望どおり、大手企業で約20年にわたり品質管理に携わってきた方に出会うことができました。林さんには、丁寧な指導をいただいております。社員のモチベーションも高まっていると感じます。安心・安全な品質管理の仕組みを確立しながら、未来の品質管理を担う人材を育成し、当社の将来を支えるより堅固な土台を築いていただけることを期待しています。

当社では現在、製薬会社と共同で、抗がん剤治療に携わる医師、薬剤師、看護師などが長時間着用する防護服用の素材の開発を推進中です。今現場で使われている防護服は、抗がん剤をはじめ液体が浸透しない素材ではあるものの、蒸気も通さないことから、辛い状況での作業を強いられているというのが現状。液体は通さないけれど蒸気は外に逃がす“呼吸する素材”を採用することにより、作業環境の改善を目指します。

今後もあらゆる現場の様々な課題を解決する付加価値の高い素材・製品の開発と提案を通して、売上拡大と社会貢献につなげていきたいと思っています。

### プロ人材からひとこと



品質管理部 林 晴高氏

入社後はまず、加工工程を細かく見させていただき、製品を知るところから始めました。現在は品質管理システムの実施、そのプロセスの運用・管理が適正か否かのレビューを一つひとつ着実にこなしながら、将来の品質管理を担う人材の育成を行っています。希望通り、メーカーでの品質管理の経験を活かしているという実感があります。担当者が不在であっても機能する標準化された品質管理システムの構築を目指し、力を尽くしていきたいと思っています。

### Company Data

- 代表取締役社長／古澤 志津夫
- 所在地／京都市右京区西院月双町73
- 電話／075-321-4825
- 設立／1966(昭和41)年11月
- 事業内容／プラスチックフィルム・光学(オプティカル)フィルムの打抜加工及び販売